

設立 70 周年記念

あゆみ



社会福祉法人
八尾市社会福祉協議会

目 次

ごあいさつ	3
八尾市社会福祉協議会会長 竹ノ株 宏 美	
お祝いのご挨拶	4
八尾市長 大 松 桂 右	
八尾市議会議長 奥 田 信 宏	
大阪府社会福祉協議会会長 井手之上 優	
八尾市社会福祉協議会70年のあゆみ	8
八尾市社会福祉協議会の事業	20
各地区福祉委員会の活動紹介	26
ボランティアグループの紹介	44
理事・監事・評議員名簿	46
地区福祉委員長連絡協議会名簿	47

設立70周年を迎えて



八尾市社会福祉協議会
会長 竹ノ株 宏 美

八尾市社会福祉協議会はおかげさまで、設立70周年を迎えることができました。これもひとえに、市民一人ひとりのお力添えと、八尾市をはじめ関係団体等のご理解とご協力によるものと衷心より感謝を申し上げます。

八尾市社会福祉協議会は、昭和26年、社会福祉事業法の制定とともに設立され、昭和43年に社会福祉法人の認可を取得し、70年にわたる長い歴史を刻んでまいりました。

この長い歴史の中で、社会福祉協議会を取り巻く環境は大きく様変わりし、その時代の社会情勢や経済情勢によって、事業そのものにも大きな変化をもたらしてきました。

特にこの10年間を振り返りますと、平成24年に民生委員児童委員協議会、保護司会等事務局の八尾市からの移管、社会福祉施設連絡会設立、平成25年、権利擁護センター開所、平成27年、生活困窮者自立支援事業の受託、平成28年、生活支援コーディネーター設置事業の受託、さらには平成31年おひさまこども園開園など大きな事業転換期となりました。

また、コロナ渦での生活困窮者支援や新しい生活様式での地域福祉活動など、八尾市社会福祉協議会の果たすべき役割はますます重要不可欠となっています。

こうした中、本年策定した「第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画」に基づき、「だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまちへ」の実現をめざし、①身近な地域でつながり、支えあう仕組みづくりの推進、②多様な主体の参加支援と連携の推進、③身近な地域における支援のためのネットワークづくりの推進を基本目標に掲げ、各種事業に全力で取り組んでまいります。

今後も、地域の方々との連携を図りながら、社会状況の変化に的確に対応した事業を積極的に展開し、地域福祉の推進に邁進していく所存でございます。

結びに、八尾市社会福祉協議会の事業に今後とも変わらぬご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

八尾市社会福祉協議会設立70周年を祝して



八尾市長
大松桂右

八尾市社会福祉協議会が設立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。貴協議会におかれましては、昭和26年に発足されてから、70年の長きにわたり、地域福祉活動の要である地区福祉委員会における活動をはじめ、高齢者の生きがいつくりなど幅広い分野で活動を展開され、この結果、誰もが安心して暮らせる本市のまちづくりが大きく前進しました。

これもひとえに、竹ノ株会長をはじめ、歴代役員並びに関係各位のたゆまぬご尽力の賜物であると深く感謝と敬意を表す次第です。

核家族や単身世帯の増加、地域社会におけるつながりの希薄化、さらには、未曾有の新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、福祉を取り巻く環境は、ますます複雑・多様化しています。それだけに、貴協議会が70年間に築かれた福祉ネットワークを礎に、今後とも市民に寄り添いながら、さまざまな福祉課題に取り組まれることを大いに期待するものです。

本市におきましては、令和3年3月に「第4次八尾市地域福祉計画」を策定し、「誰ひとり取り残さない しあわせを感じる共生のまち」を基本理念に掲げ、誰もが役割を持ち活躍できる地域共生社会の実現に向けて取り組んでいます。引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協議会におかれましては、輝かしい設立70周年を契機とされ、より一層の飛躍を遂げられますことを祈念いたしますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば



八尾市議会
議長 奥田 信宏

八尾市社会福祉協議会が設立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

現在、我が国は少子高齢化・人口減少社会を迎えており、人と人、人と地域のつながりが希薄になる中で、介護や子育てをはじめ、ひきこもりや社会的孤立、貧困といった複合的な福祉課題に対して、公的機関を含む地域の様々な主体が協力し合いながら解決を図っていくことが求められています。

また、近年の新型コロナウイルス感染症の脅威は、私たちに「新しい生活様式」への適応を余儀なくし、これに応じた、新たな「つながり」の仕組みづくりも重要な課題となっています。

このような中、貴協議会におかれましては、地域における住民同士の交流、見守り、相談支援や地域の担い手の育成等、地域福祉の推進にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表する次第であります。

私ども市議会といたしましても、すべての市民が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいり所存でございます。

結びに、この記念すべき70周年を契機に、地域福祉の推進に、より一層ご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協議会のますますの発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

設立70周年を祝して



大阪府社会福祉協議会
会長 井手之上 優

八尾市社会福祉協議会が設立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

今日、人口減少社会を迎える中、地域の誰もが役割をもち主体的に地域に参加する「地域共生社会の実現」が求められています。





一方で新型コロナウイルスによる影響から、失業などによる生活困窮者の増加、住民同士の接触機会の減少による孤独・孤立の問題など、生活・福祉課題が浮き彫りとなり、新たな支えあいの仕組みの構築が急がれています。

このような中、貴社協においてはこれまでの小地域活動を礎として、生活困窮自立支援等における個別支援の充実や、地域貢献委員会の活性化を通じてきめ細やかなセーフティーネットを構築するなど、地域力を高める役割を果たしておられます。また高齢者や障がい者の権利擁護支援にも尽力され、地域の中核的な機関として権利擁護センター（愛称ほっとネット）を設置し、地域連携のネットワーク構築にも積極的に取り組まれております。

今後とも総合的な地域福祉推進のため、小地域活動の積極的な展開とともに、関係機関と連携したネットワークの充実などにより、貴社協がますます発展されることをご期待申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



八尾市社会福祉協議会 70年のあゆみ

<p>昭和 26 年</p>	<p>4月 社会福祉事業法制定 社会福祉協議会設立 初代会長に橋本寅吉氏就任</p>	 <p>第1代会長 故橋本寅吉氏</p>
<p>昭和 30 年</p>	<p>4月 第2代会長に天野作太郎氏就任 世帯更生資金制度発足 (現 生活福祉資金制度)</p>	 <p>第2代会長 故天野作太郎氏</p>
<p>昭和 32 年</p>	<p>4月 結婚相談所開設 「福祉の葉」発行</p>	 <p>結婚相談所開設</p>
<p>昭和 34 年</p>	<p>4月 志紀地区福祉委員会結成</p>	
<p>昭和 35 年</p>	<p>4月 第3代会長に富田栄太郎氏就任 南高安地区福祉委員会結成 山本地区福祉委員会結成 10月 用和地区福祉委員会結成</p>	 <p>第3代会長 故富田栄太郎氏</p>

昭和
36
年

2月 曙川地区福祉委員会結成
4月 第4代会長に西岡三四郎氏就任
10月 心配ごと相談所開設



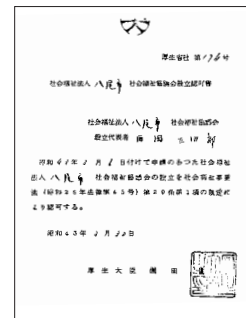
第4代会長 故西岡三四郎氏

昭和
40
年

4月 西郡地区福祉委員会結成

昭和
43
年

3月 社会福祉法人格取得



昭和
44
年

4月 善意銀行設立

昭和
45
年




4月 第5代会長に田中吉治郎氏就任
7月 第1回八尾市社会福祉大会開催
8月 用和地区校区変更により分割
用和地区福祉委員会結成
長池地区福祉委員会結成




第5代会長 故田中吉治郎氏

<p>昭和 46 年</p>	<p>12月 府かけこみ緊急資金制度発足</p>
<p>昭和 47 年</p>	<p>4月 第6代会長に平岡鶴吉氏就任 7月 山本地区分割により再編成 山本第1地区福祉委員会結成 安中地区福祉委員会結成 9月 山本第3地区福祉委員会結成</p> <div data-bbox="1102 607 1334 880" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1075 891 1358 920">第6代会長 故平岡鶴吉氏</p>
<p>昭和 48 年</p>	<p>4月 八尾第二地区福祉委員会結成 9月 社会福祉会館完成（老人福祉センター開設） 11月 山本第2地区福祉委員会結成</p> <div data-bbox="903 958 1378 1245" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1064 1249 1219 1274">社会福祉会館完成</p>
<p>昭和 49 年</p>	<p>2月 高安地区福祉委員会結成 9月 美園地区福祉委員会結成</p>
<p>昭和 50 年</p>	<p>3月 献血事業開始 4月 高齢者無料職業相談所開設 6月 「社協だより」第1号発行 久宝寺地区福祉委員会結成</p>

<p>昭和 52 年</p>	<p>2月 亀井地区福祉委員会結成 11月 社協発足25周年記念大会開催</p>
<p>昭和 53 年</p>	<p>3月 交通遺児福祉資金給付制度発足 4月 第7代会長に鈴木武司氏就任 12月 高砂地区福祉委員会結成</p> <div data-bbox="1114 607 1347 882" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1091 891 1374 920">第7代会長 故鈴木武司氏</p>
<p>昭和 55 年</p>	<p>7月 高齢者能力活用センター開設</p>
<p>昭和 56 年</p>	<p>4月 久宝寺地区福祉委員会再結成</p>
<p>昭和 57 年</p>	<p>3月 ボランティア連絡会設立 6月 第1回初級ボランティア・スクール開催 7月 社協発足30周年記念大会開催</p> <div data-bbox="938 1666 1366 1957" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1007 1960 1297 1984">初級ボランティア・スクール開催</p>



<p>昭和 58 年</p>	<p>2月 高齢者無料職業紹介所開設（労働省認可） 4月 特別心配ごと相談所開設 10月 市町村社協法制化 11月 第1回老人介護セミナー開催</p>	 <p>老人介護セミナー開催</p>
<p>昭和 59 年</p>	<p>5月 山本第1・第2・第3地区分割 東山本地区福祉委員会結成・西山本地区福祉委員会結成 南山本地区福祉委員会結成・山本地区福祉委員会結成 上之島地区福祉委員会結成・高安西地区福祉委員会結成 永畑地区福祉委員会結成 7月 第1回ジュニアボランティア・サマースクール開催 12月 社協強化計画策定委員会設置</p>	 <p>ジュニアボランティア・サマースクール開催</p>
<p>昭和 60 年</p>	<p>4月 北山本地区福祉委員会結成 高齢者能力開発情報センター開設</p>	
<p>昭和 61 年</p>	<p>3月 社協強化計画答申 5月 大正北地区福祉委員会結成 7月 財政問題小委員会設置 11月 第1回八尾ふれあい広場開催</p>	 <p>八尾ふれあい広場開催</p>
<p>昭和 62 年</p>	<p>3月 おとしよりの情報誌発行 4月 ボランティア・センター（ビューロー）開設 重度ねたきり障害者入浴サービス事業開始 福祉基金設置</p>	




<p>昭和 63 年</p>	<p>4月 第8代会長に葭仲恒三氏就任 ボランティア活動推進モデル地区指定事業開始（給食サービス） 7月 地域福祉強化推進委員会設置</p>	 <p>第8代会長 故葭仲恒三氏</p>
<p>平成 元 年</p>	<p>3月 福祉基金目標額1億円達成記念式典開催 4月 地区福祉委員会指定事業開始（福祉だよりの発行等） ねたきり老人介護者（家族）の会設立 5月 地域福祉強化推進に関する報告書答申</p>	 <p>福祉基金目標額1億円達成記念式典開催</p>
<p>平成 2 年</p>	<p>2月 社協定款検討委員会設置 地区福祉委員会指定事業開始 （ひとり暮らし老人の会組織化） 4月 ねたきり老人入浴サービス事業開始 8月 新定款施行</p>	 <p>ねたきり老人入浴サービススタート式</p>
<p>平成 3 年</p>	<p>11月 社協発足40周年記念大会開催 福祉人材バンク業務開始</p>	
<p>平成 4 年</p>	<p>5月 第9代会長に森田桂司氏就任 9月 第1回中国帰国者交流事業 11月 第1回大阪ボランティアフェスティバル開催</p>  <p>第1回中級ボランティアスクール開催</p>	 <p>第9代会長 故森田桂司氏</p>

<p>平成 5 年</p>	<p>2月 いちょうの会（ひとり暮らし老人の会連合会）発足 3月 ボランティア連絡会設立10周年記念のつどい開催 4月 ふれあい型給食サービスモデル事業開始 竹濑地区福祉委員会結成 6月 「市民福祉賞」制定 8月 リフト付自動車の貸出事業開始 11月 八尾第三地区福祉委員会結成</p>	  <p>リフト付自動車「のぞみ号」寄贈式</p>
<p>平成 6 年</p>	<p>1月 高美地区福祉委員会結成 7月 高美南地区福祉委員会結成</p>	 <p>リフト付自動車の貸出事業開始</p>
<p>平成 7 年</p>	<p>2月 阪神・淡路大震災炊き出しボランティア 5月 第10代会長に次田三次郎氏就任 7月 組織検討委員会設置</p>	  <p>阪神・淡路大震災救援物資輸送 第10代会長 故次田三次郎氏</p>
<p>平成 8 年</p>	<p>2月 会員規程制定 4月 曙川地区分割 曙川地区福祉委員会結成 刑部地区福祉委員会結成 曙川東地区福祉委員会結成 11月 第1回社協フェスティバル開催</p>	 <p>社協フェスティバル開催</p>
<p>平成 9 年</p>	<p>11月 ふれ愛ぴっくおおさか開催</p>	

<p>平成 10 年</p>	<p>3月 結婚相談所業務廃止 8月 小地域ネットワーク活動推進事業開始 10月 経済生活支援サービス事業開始 12月 在宅福祉サービスネットワークセンター（サポートやお）施設管理開始</p>	 <p>サポートやお竣工</p>
<p>平成 11 年</p>	<p>10月 地域福祉権利擁護事業開始（経済生活支援サービス事業改変） 3月 大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会開催（於八尾市）</p>	 <p>大阪府市町村ボランティア連絡会河南ブロック交流会</p>
<p>平成 12 年</p>	<p>5月 第11代会長に井藤義高氏就任 6月 社会福祉法施行「社協による地域福祉推進の明文化 他」 10月 第1回ボランティアサロン開催</p>	  <p>ボランティアサロン開催</p> <p>第11代会長 故井藤義高氏</p>
<p>平成 13 年</p>	<p>3月 福祉基金（2億円）達成 11月 社協設立50周年記念式典開催</p>	
<p>平成 14 年</p>	<p>1月 運営委員会設置（組織検討委員会改組） 2月 離職者支援資金（生活福祉資金）貸付制度開始 3月 高齢者能力開発情報センター・高齢者無料職業紹介所廃止 4月 府かけこみ緊急資金廃止、小口生活資金（生活福祉資金）に名称変更 ファミリー・サポート・センター事業開始（受託事業） 8月 大正南地区福祉委員会結成</p>	 <p>大正南地区福祉委員会結成総会</p>

<p>平成 15 年</p>	<p>4月 組織構成会員制度導入（会員規程の改正） 移送サービス等事業開始（リフト付自動車貸出事業制度変更）</p>
<p>平成 16 年</p>	<p>3月 「八尾市社会福祉協議会・地域福祉活動計画」の策定 高齢者健康相談事業廃止 5月 第12代会長に西川繁氏就任</p> <div data-bbox="1118 483 1350 757" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1090 768 1382 797">第12代会長 故西川 繁氏</p>
<p>平成 17 年</p>	<p>5月 龍華地区福祉委員会結成 10月 亀井小学校東地区福祉委員会結成 (平成28年4月「亀井小東地区福祉委員会」へ名称変更)</p> <div data-bbox="405 949 711 1167" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="405 1167 711 1189">亀井小学校東地区福祉委員会設立総会</p> <div data-bbox="1038 954 1345 1171" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1066 1171 1318 1193">龍華地区福祉委員会設立総会</p>
<p>平成 18 年</p>	<p>3月 八尾市在宅福祉サービスネットワークセンター（サポートやお） 施設管理廃止 4月 指定管理者として社会福祉会館の管理受託 5月 福祉有償運送事業開始（移送サービス等事業制度変更） 11月 社協設立55周年記念式典開催</p>
<p>平成 19 年</p>	<p>2月 コミュニティソーシャルワーカー配置事業受託 3月 福祉人材バンク業務廃止 重度ねたきり障害者入浴サービス及びねたきり老人入浴サービス 事業廃止 4月 日常生活自立支援事業開始（地域福祉権利擁護事業制度変更）</p>
<p>平成 21 年</p>	<p>3月 「第2次八尾市社会福祉協議会・地域福祉活動計画」の策定 6月 八尾小校区第一地区福祉委員会結成 10月 総合支援資金貸付業務受託（離職者支援資金廃止）</p> <div data-bbox="1027 1720 1362 1962" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1034 1966 1362 1989">八尾小校区第一地区福祉委員会設立総会</p>

<p>平成 22 年</p>	<p>7月 八尾市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進会議 作業部会設置</p>
<p>平成 23 年</p>	<p>11月 社協設立60周年記念式典開催</p>
<p>平成 24 年</p>	<p>4月 八尾市から民生委員児童委員協議会、保護司会、更生保護女性会、社会を明るくする運動事務局の移管 八尾市社会福祉協議会社会福祉施設連絡会設立 9月 第13代会長に中西勝晴氏就任</p> <div data-bbox="1098 779 1327 1055" style="text-align: right;">  </div> <p data-bbox="1054 1066 1369 1095" style="text-align: right;">第13代会長 故中西 勝晴氏</p>
<p>平成 25 年</p>	<p>3月 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画【前期】策定（平成24年度～27年度） 12月 権利擁護センター開所（法人後見・市民後見人養成事業）</p>
<p>平成 26 年</p>	<p>2月 災害ボランティアセンター運営マニュアルの策定 第1回災害ボランティアセンター運営訓練実施 4月 地域包括支援センターランチ受託 市民後見人養成事業スタート 5月 第14代会長に加賀正一氏就任</p> <div data-bbox="1098 1384 1327 1659" style="text-align: right;">  </div> <p data-bbox="1062 1671 1362 1700" style="text-align: right;">第14代会長 加賀 正一氏</p>
<p>平成 27 年</p>	<p>1月 八尾市社会福祉協議会社会福祉施設連絡会と八尾市が「災害発生時等における福祉避難所等に関する協定」を締結 4月 生活困窮者自立相談支援事業受託 5月 佐野満男基金設置</p>

<p>平成 28 年</p>	<p>3月 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画【後期】策定 (平成28年度～32年度) 4月 生活支援コーディネーター設置事業受託 6月 第15代会長に角田禮子氏就任</p>	 <p>第15代会長 角田 禮子氏</p>
<p>平成 29 年</p>	<p>4月 ワンコイン生活サポート事業実施 10月 老人福祉センターでひまわりカフェオープン</p>	
<p>平成 30 年</p>	<p>3月 コミュニティソーシャルワーカー配置事業の受託廃止 8月 八尾市ボランティア連絡会 第1回ふれあいフェスタ開催</p>	
<p>平成 31 年 (令和元年)</p>	<p>4月 おひさまこども園開園 シルバーリーダー養成事業、市民介護予防推進員事業、 高齢者ふれあいサロン運営支援事業受託 6月 第16代会長に山下彬氏就任 9月 地域包括支援センターランチの受託廃止 10月 生活支援コーディネーター設置事業の拡大</p>	 <p>おひさまこども園</p>  <p>第16代会長 故山下 彬氏</p>
<p>令和 2 年</p>	<p>3月 新型コロナウイルス特例貸付の実施 新型コロナウイルスにともなう住居確保給付金の受付実施 ワンコイン生活サポート事業終了 4月 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の実施 地域子育て支援事業「さんさんひろば」の開設</p>	<p>第16代会長 故山下 彬氏</p>

社会福祉協議会とは？

八尾市社会福祉協議会（社協）は、地域福祉活動の中核となって、さまざまな福祉サービスを展開する八尾市に一つだけの団体です。

地域住民や社会福祉の関係者等の参加・協力により組織され、活動しているという大きな特徴があり、民間団体としての自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもった、民間非営利団体（社会福祉法人）です。



社会福祉協議会の活動は住民のみなさんに支えられています

● 会員・会費制度

少子高齢化が進むこれからの時代に、社協は地域福祉活動の中核として重要な役割を担うことが要請されています。補助金のみには頼るのではなく、その目的に沿うために地域の住民の方々に少しずつ負担していただき、助け合いの精神で地域の福祉活動を充実していくために、会員制度を設けて、みなさまにご協力いただいております。

○ 組織会員

社協の理事や評議員を選出できる団体又は機関。1口2,500円の年会費にご協力いただいております。

○ 賛助会員

- ・ 住民賛助会員 : 1口100円の会費にご協力いただいている住民
- ・ 特別賛助会員 : 1口1,000円の年会費にご協力いただいている個人または事業所
- ・ 法人会員 : 1口10,000円の年会費をいただいている法人

さまざまな助け合い・支え合い事業



献血推進事業

「愛の血液助け合い運動」として献血の普及および推進をはかる八尾市献血推進協議会の事務局を社協で担っています。



赤い羽根共同募金

赤い羽根で知られている共同募金は民間の社会福祉事業を支援するために、共同募金として、社会福祉法に基づき、毎年10月から全国的に行われています。また12月には歳末助け合い運動も実施しています。



善意銀行

皆様からの善意（寄付）を受け付ける窓口です。頂いた善意（寄付）は地域福祉活動に有効に役立っています。※税金控除の対象になります。

地域福祉の推進



地区福祉委員会

地区福祉委員会は概ね小学校区を単位に自治会、民生委員・児童委員、高齢クラブ、子ども会などの住民団体から組織されています。

現在八尾市には32の地区福祉委員会が結成されており、社協と連携をとりながら、小地域ネットワーク活動をはじめ、福祉のまちづくりに取り組んでいます。



小地域ネットワーク活動

個別援助活動

ひとり暮らし高齢者や災害時要配慮者等が地域で孤立することがないように見守りのネットワークをつくります。

グループ援助活動

高齢者や障がい者、子育て中の親子等がコミセンや集会所等を利用して、交流と親睦を深めるための活動です。

喫茶サロン、いきいきサロン、子育てサロン、給食サービス、世代間交流等各地区で特色を活かした取り組みが行われています。



生活支援コーディネーター

地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築の中で、高齢者が生きがいを持ちながら地域生活を継続していけるよう支え合いの整備・コーディネートを行います。



当事者組織活動の支援

○八尾市ひとり暮らし老人の会連絡会（いちょうの会）

ひとり暮らし高齢者が地域で孤立することなく、健康で長生きできるように研修会や情報交換等の活動を行っています。

○八尾市介護者（家族）の会

「家族の介護」という共通の経験を持つ者（当事者）が集まり、活動する当事者組織です。また介護相談も行っています。



福祉団体事務

八尾市民生委員児童委員協議会、八尾地区保護司会、八尾地区更生保護女性会の事務局を担っています。

ボランティア・市民活動の推進



ボランティアセンター

サポートやおボランティアセンターでは、ボランティア活動や市民活動の支援のための事業を行っています。

また、ボランティアの登録、紹介（コーディネート）、講座の開催、活動支援等も行っています。



移送サービス

リフト付きの自動車で、移動が困難な高齢者や障がい者のお出かけを応援しています。外出をお手伝いするのは登録ボランティアグループの「運転ボランティア」さんです。



ファミリー・サポート・センター

やおファミリー・サポート・センターでは、子育ての援助をしてほしい人（依頼会員）と子育ての援助をしたい人（援助会員）に会員として登録していただき、会員同士で助け合っていただく活動を支援しています。

高齢者の生きがいづくり

社会福祉会館の3階と2階の一部に、60歳以上の方が利用できる老人福祉センターを市から受託しています。囲碁、将棋、詩吟、パソコンなど19種類の同好会活動があり、センター行事として誕生会、文化作品展、年末さよならパーティーを行っています。

いろいろな相談窓口



心配ごと相談

家庭や身のまわりの心配ごとに適当な相談相手がいなくてひとりで悩んでいる方、どこの相談窓口に相談に行けばよいのか分からないで困っている方の相談に応じています。



八尾市生活支援相談センター

仕事や生活に困っていらっしゃる方に対して、ひとり一人の状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員があなたに寄り添いながら、他の専門機関と連携して解決に向けた支援を行います。



福祉の貸付制度・生活福祉資金

大阪府社協では、低所得者・障がい者・高齢者世帯の自立支援策として、資金の貸付と必要な相談支援を行う生活福祉資金貸付制度を運用しています。

八尾市社協は、この制度の身近な窓口として、相談や申込書類の受付を行っています。



日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方が安心して生活が送れるよう支援します。(福祉サービスなどの利用援助、金銭管理サービス、書類など管理サービス)



成年後見制度利用促進事業

法律・福祉の専門職団体・関係機関と連携・協力し、権利擁護支援の中核的な機関として、地域連携ネットワークの構築を進めていきます。



法人後見受任事業

認知症や知的障がい・精神障がいなどで、判断能力が不十分であり、成年後見制度の利用を必要とする方々の成年後見人等となります。



市民後見人養成事業

弁護士などの専門職後見人に代わって、近隣住民の助け合いとしての市民後見人を養成していきます。



車いすの貸出

高齢や障がい、ケガ等により一時的に車いすが必要な方に貸し出しています。介護保険サービス等他の制度が利用できるまでのつなぎとしてご利用ください。

幼保連携型認定こども園



おひさまこども園

八尾市社会福祉協議会が運営する幼保連携型認定こども園です。地区福祉委員会をはじめとしたさまざまな団体と連携し、「地域で子どもを見守り育てる！」を合言葉に教育・保育を進めていきます。

八尾市社会福祉協議会の事業・関係団体の事業



移送サービス



ひまわりカフェ



ボランティア活動展



ボランティアフェスティバル



心配ごと相談



市民後見人養成講座



ファミリー・サポート・センター



共同募金



各地区福祉委員会の活動紹介

地区福祉委員会とは

住みよい福祉のまちづくりは地域住民による支えあいと協力からはじまります。

誰もが住みよい「福祉のまちづくり」を進めるためには、生活環境の整備や、福祉サービスを充実させることはもちろんですが、そこに住む地域住民が互いに協力し支え合うことが大切です。こうした支えあいの活動を担っているのが「地区福祉委員会」です。

地区福祉委員会は、概ね小学校区を単位に自治会、女性会、保護司会、更生保護女性会、民生委員・児童委員、子ども会育成会、高齢クラブなどの住民団体から組織されています。福祉のまちづくりを目的に、住民が主体となり、地域ぐるみで福祉活動を推進しています。



現在八尾市には32の地区福祉委員会が結成されており、社会福祉協議会と連携をとりながら、福祉のまちづくりのため、それぞれの地域の特性に対応した活動を推進しています。

各地区福祉委員会の活動紹介（設立順）

志紀地区（昭和34年4月設立）

志紀地区福祉委員会は、昭和34年4月、市内最初の福祉委員会として誕生しました。当地区は、高齢化が進みひとり暮らし高齢者が増加、老後を楽しく過ごせるように「一人暮らし高齢者の給食サービス」、お友達と語り合える「ふれあいさろん四季」、地域の子どものための防犯の見守り活動、小学生対象の「きずな食堂」、住民懇談会など、少しでも人とのつながりを深めていきたいと思ひます。

毎年5月開催の「志紀のまちフェスタ」では、熟年のバンドマンが中心メンバーであるコンサートを開催し、老若男女に楽しんで頂き、音楽が流れるまち“志紀”を目指しております。



志紀 ふれあいサロンクリスマス会

昨年度は、コロナ禍で大半の行事が中止していますが、早く活動ができる事を祈っております。ボランティアの皆さんからもいつから再開ですか？とお待ちいただいております。これからも志紀地区福祉委員会が地域の方のお役に立つように頑張りたいと思ひます。

南高安地区（昭和35年4月設立）

当地区には45町会があり、面積5.06km²(市全体の12%)、市東部「生駒国定公園」の麓に位置し、北は黒谷から南は柏原市と隣接する神宮寺までの範囲に、約7,500世帯(市全体の6%)・16,700人(65歳以上4,900人：地区全体の約30%)が生活されています。

各種団体の代表者等24人で構成される当地区福祉委員会は、「住みよいまちづくり」を目指し、市社協の下部組織として各種団体間の連携調整のもと地域福祉の増進に資するため、それぞれの団体と連携しながら活動しています。

その概要は、次のとおりです。

- ①生活福祉…地域美化活動
- ②健康福祉…成人病予防会・健康教室OB会(住民健康診断約1,600人受診)、世代間交流委員会(ジャガイモ・サツマイモの栽培収穫)、スポーツ祭実行委員会(市民スポーツ祭)
- ③高齢福祉…高齢クラブ連合会(敬老祝寿式)、母の木会(給食サービス)
- ④青少年福祉…子育て支援(はとぼっぼ)、放課後子ども教室、地区子ども会(むかし遊び祭・夜店祭・焼イモ祭・子ども祭)青少年指導委員会
- ⑤その他…まちづくり協議会(わがまち計画策定・住民講演会・防犯カメラ設置・防災訓練・地域一斉清掃・イルミネーション点灯・子ども見守り活動・青パト巡回)



いきいきサロン

各地区福祉委員会の活動紹介

西郡地区（昭和40年4月設立）

当地区では、主にふれあい給食会、ふれあい喫茶、地域一斉清掃、市民スポーツ祭を実施しています。

給食会と喫茶は、当地区で高齢化が進んでいるため、高齢者の交流の場を広げるために実施しています。友達に会える場所として参加者にとっても喜んでいただいています。

年4回の地域一斉清掃は、地域の各団体の方が集まり、協力して実施しています。

市民スポーツ祭は地域のこども園、小中学校とも連携し、大人も子どもも一緒に楽しんでいます。

また、近畿大学の学生との交流も地域活動の特色になっています。学生さんが、給食会や喫茶に来て調理などを手伝ってくれたり、一斉清掃や市民スポーツ祭に参加したりと、地域の方と一緒に地域活動を盛り上げています。

これからも、高齢者から子どもまで、誰もが助け合いの精神を持てるよう、みんなが住みよい地域をめざしていきます。



ふれあい給食会

長池地区（昭和45年8月設立）

当地区は、昭和44年に長池小学校が新設され、中核が出来上がった翌45年に全ての団体と住民が結束して福祉委員会が誕生、令和元年に50周年を迎えました。

先人の土台を作って下さった事業を継承し、又新しい事業にも各部会取り組んで頂いております。又ひとり暮らし高齢者への月1回（12月を除く）給食サービス会は、早38年が経過致しました。

毎年12月第2日曜日は「世代間交流クリスマス会」を開催、ボランティアたんぽぽの会の手作り「幕ノ内弁当」をいただき、第2部では小学生、育成会の役員さんによる演奏・合唱、参加者全員でクリスマスソングを合唱し、最後にピンゴゲームで一足早いクリスマス会も終了。

帰りに小学生手作りの寄せ植え（ハボタン・パンジー）をプレゼントして頂き、高齢者の皆さんの「楽しい1日をありがとう」の声に、スタッフ一同これからも継続していく大切な事業と考えております。

玄関に置いてある寄せ植えに水をやる度、思い出しますとの声も！



世代間交流

各地区福祉委員会の活動紹介

用和地区（昭和45年8月設立）

当地区は各部会が協力し、ふれあい祭りや市民スポーツ祭など実施しています。ふれあいサロンでは、月3回土曜日にカラオケをして高齢者の方と楽しい一時を過ごし、年2回カラオケ大会もしています。第4土曜日は高齢者あんしんセンター萱振苑や保健師を講師に健康講座、折り紙を楽しむ手作りの会も月に一度しています。初めは参加者も少なく心配していましたが、誘い合わせて来てくださる方もだんだん増えて賑やかになりました。

物作りでは折り紙の土台に目や口を付けて、動物の顔をしたポチ袋や作ったパーツを組み合わせてクリスマスの飾りを作製したりと参加者の希望も伺いながら毎回作品に挑戦しています。想像以上に熱心で自宅でもおさらいしたり、同じ物を沢山作ってアレンジを加えたりと楽しんでくださっているようです。



物作り

去年からコロナ感染予防の為、集会所が使用できないので、カラオケ・物作りと何もできない状態ですが、一日も早く終息して皆様と楽しい時間が過ごせたらと思います。

安中地区（昭和47年7月設立）

当地区は、JR八尾表駅から、安中小学校、長瀬川を中心として昭和47年11月に結成されました。各種団体の協同活動によって、地域の住民の福祉の増進を図る事を目的に進めて現代で49年に成りますが、約4千世帯、人口約11,000人、37町会が、住みよい明るい町づくりを目標に努めております。

安中フェスタでは、女性役員、若い人達を中心に構成され、各種団体が協力し、地域の交流を図っています。

三世代交流では、物づくり、グランドゴルフまた、一人暮らしの高齢者の方々の声かけ、見守りなど、ボランティア活動に取り組んでいます。



安中フェスタ

地域の皆様と、より一層、安全安心を目指して、がんばっていききたいと思います。

各地区福祉委員会の活動紹介

八尾第二地区（昭和48年4月設立）

私たちの地区では、伝統文化である「流し節音頭」を継承するため、『流し節正調河内音頭の夕べ』という催しを毎年8月7日に常光寺の境内で開催しています。この催しは、地域の皆さんのご協力のお陰でもう50年近く続いています。流し節音頭は河内地方で最古のものといわれ、平成8年には環境省の『残したい日本の音風景100選』に選ばれました。夏になると本番に向けて「流し節正調河内音頭保存会」の皆さんのご指導のもと、大人も子どもも楽しく練習に励んでいます。



流し節正調河内音頭の夕べ

また、この行事の他にも高齢者と子ども達が落語やゲーム、工作を楽しむ「三世代交流会」やお正月の「もちつき大会」などがあり、地域の世代間交流の活性化を促しています。

私たち八尾第二地区福祉委員会の基本理念は「ふれあいの心とところを大切に」です。この理念に則り、人と人との絆のつながりを大切に、河内音頭という伝統文化を地域の宝物として次世代に伝えていけたらと思っています。

高安地区（昭和49年2月設立）

当地区は地区福祉委員会の事務局制度が確立し、各地区より推薦された事務局員により委員会活動を総括し、市民スポーツ祭や住民懇談会等の行事を行っています。

平成4年からは、「ふれあい山の手」のボランティア会が、ひとり暮らし高齢者の会「きくの会」に手作りの食事を提供しています。食後には、誕生日のお祝いやボランティアの人達によるアトラクションとして楽器演奏を楽しんでいます。



クリスマス会

令和元年には、子どもへの支援として「はとぽっぽ高安」を開始し、地域の子育て世代の交流を図っています。

令和元年6月からは、山畑会館をお借りして、地区の高齢者の憩いの場として、「ふれあいカフェやまねぎ」も開設しました。

今後とも、未就学児から高齢者の人まで、地域一体となり、つながりを深めていきたいと思っています。

各地区福祉委員会の活動紹介

美園地区（昭和49年9月設立）

我が地区は、六つの部会 ◎高齢部会 ◎更生保護部会 ◎民生児童部会 ◎保健部会 ◎青少年部会 ◎総務部会で成り立ち、銘々の活動に取り組みながら、地域の児童・高齢者の見守り活動を行っております。月一回は、部会の幹事が集合する「幹事会」を開き、八尾市からの案件を通達し、活発な意見の交流をしております。

地域全体の行事としては、◎スポーツ祭 ◎ふれあい祭り ◎三世代グラウンドゴルフ大会 ◎住民懇談会 ◎一斉清掃 ◎防災訓練があり、この全ての行事には、六部会の方々や地域の皆様のご協力が無くては開催は叶いません。しかしながら、毎回地域の団結力、底力を拝見し心から感謝致しております。さて、我が地区では三年前から、ま



防災訓練

ちづくり協議会の協力を頂きまして、「自主防災」に特化し、取り組んでまいりました。八尾市消防署主催の「やおきら交流会」には、数名が積極的に参加し、防災リーダー養成講習を習得いたしました。「自助、共助」の大切さを知ることにより、災害時において、沢山の命を守る事ができると確信し、これからも、誰もが出来る「自主防災」を目指し、まちづくり協議会と共に、繋げていく所存でございます。又、地域住民が、安心して暮らせるよう、住みよいまちづくりを、目指してまいります。

久宝寺地区（昭和50年6月設立）

当地区では、「いつまでも心豊かに住み続けたいまち久宝寺」をスローガンに掲げ、自治振興委員会、民生委員児童委員会、女性会など関係22団体からの委員で構成する「総務」「生活更生」「高齢者」「青少年」「保健」「ボランティア」の6つの部会を設けて事業活動を展開しています。

それぞれ、住民懇談会「何でも言わん会」、障がい者を囲むふれあい祭り、放課後子ども教室「るんるん教室」、高齢者友愛訪問、地域環境美化活動、ふれあい食事サービスなど、各部会の活動目的の達成に向けて、企画・運営しています。

また、部会や関係団体が一致協力して、地域をあげての行事「好きやねん久宝寺まつり」「市民スポーツフェスティバル」や地区防災訓練などを開催し、地域住民の皆さんの絆づくりや、安全安心のまちづくりに取り組んでいます。



何でも言わん会

これからも、住民の皆さんと一丸となり、知恵と工夫を出し合い、時代に相応しい取り組みを進めてまいります。

各地区福祉委員会の活動紹介

亀井地区（昭和52年2月設立）

当地区の福祉委員会は、住民親睦団体・亀友会（きゆうかい）を前身とし昭和52年2月に設立され、地域住民の福祉の向上を目指し、町会、民生委員、自治振興委員など各種団体と力を合わせ活動しています。

夏の納涼祭・春秋2回のグラウンドゴルフなど世代間交流活動。演芸鑑賞などのふれあいお楽しみ会・喫茶サービスなどのいきいきサロン・花見を兼ねたミニ歩こう会・ひとり暮らしのお年寄りに対してのお食事サービス等グループ援助活動などを実施しています。

また、安全安心町づくりの一環として、自主防災訓練を毎年実施しています。八尾市消防署、消防団龍華分団のご協力のもと、子供からお年寄りまでの住民が多数参加し、水消火器による消火訓練、毛布を利用した担架作成、仮設テント内での模擬煙中体験、ばけつりレー等を実施し、最後に保健福祉部に炊きだしていただいた豚汁、おにぎりを参加者全員でいただきます。



防災訓練

高砂地区（昭和53年12月設立）

昭和41年に大阪府営高砂住宅ができ、昭和53年に高砂地区福祉委員会が設立。高砂住宅、高砂南住宅、太閤苑住宅の三町会合同で発足しました。校区は北山本小学校区です。

私たちの委員会は、中国帰国者や市外からの入居者により世帯数も増え、大変庶民的な雰囲気のある所にあります。子ども達の良い故郷になるよう頑張っています。地区福祉委員会の活動としては、お年寄りの友愛訪問、ひとり暮らし高齢者の給食事業や健康講座等に取り組んでおります。福祉施策もだんだん変わってきている中、三世代の交流や地域の活性化、住民間の助け合い等が求められています。

私たちの地区では、孤独死や児童虐待のような悲しい事が起こらないよう、福祉委員会や自治会、青少年指導員、民生委員、PTAと学校の先生方などと力を合わせ、地域住民が一緒になって頑張っていきたいと思っております。



食事会

各地区福祉委員会の活動紹介

上之島地区（昭和59年5月設立）

本会は、「未来に輝け！いこいの町上之島！」をモットーに日々活動に励んでいます。夏には盆踊り大会、秋には敬老祝寿会、市民スポーツ祭があり、ふれあい喫茶（くり・フレンドカフェ・かみお）と独居高齢者対象の食事会は毎月実施しています。

平成28年度からは障がい者理解を深めるための助成金（佐野満男基金）を利用した活動を始め、今ではひばり作業所と協働のふれあい喫茶も開催して、みんなで楽しくお話ししています。また、手話を学んだり、災害時に手助けが必要な方への対応を学んだりといった講座も実施し、誰もが住みやすい共生社会になるよう取り組んでいます。



佐野満男基金 障がい者支援啓発事業

令和2年度は、コロナの影響で多くの地域活動が中止となりましたが、地域のつながりが途切れないように「出来ることから始めよう」と健康体操を開催しました。これからも共生社会実現に向けて頑張ります。

高安西地区（昭和59年5月設立）

当地区は、子どもから大人、お年寄りまで、すべての人が安全で安心な毎日を、明るく・楽しく・いきいきと、元気に過ごせるように、納涼盆踊り大会・市民スポーツ祭など様々な地区福祉活動を行っています。特に校庭キャンプは、小学校高学年向けに、楽しかったことが思い出として残るようにと、工夫を凝らして実施しており、好評をいただいています。

また、平成26年にスタートしたふれあい喫茶「お・も・て・な・し」は、地区住民の憩いの場としてすっかり定着し、毎回50～60人の方々が来られ、楽しく過ごしておられます。さらに数年前から、福祉委員会の構成団体である小学校・中学校PTA・子ども会・育成会の役員OBの方に地区活動への協力を依頼した結果、福祉委員会の中核としての活動に発展し、念願であった「福祉委員会の若返り」が実現しつつあります。



ふれあい喫茶

各地区福祉委員会の活動紹介

永畑地区（昭和59年5月設立）

当地区は、「あたたかい町・思いやりとふれあいの町～永畑」をモットーにし、総務・生活更生福祉・保健福祉・高齢福祉・青少年福祉、そして広報の6部会で構成し、まちづくり協議会とも連携し各種行事を実施しています。

そこで今回は、保健福祉部会の主たる行事の一つ「ふれあい食事サービス」を紹介させていただきます。

平成17年より年一度、植松・相生・老原各集会所で70歳以上の方を対象にお食事会をさせていただきます。参加費は200円を頂き、手作りのちらし寿司(すし飯から具材まで)、おかず一品、そしておすましを添え、高齢者の方々に美味しいと大変喜んで頂いております。参加者は150名ほどで、食事後はゲーム・演奏・体操等で楽しく過ごし、帰って頂いております。令和元年からは、お手伝いをしてくださる方も高齢化し、手作りではなく地域の給食会社にお弁当をお願いすることになりました。

これからも、地域社会の皆さん方とともに、超少子高齢社会に対応した活動の推進に努めてまいります。



食事会

西山本地区（昭和59年5月設立）

今東光先生を輩出した西山本地区は、古き時代を思い起させる町並みを残し乍ら、目まぐるしく変化しております。

振り返りますと、西山本地区福祉委員会では様々な取り組みを行って参りましたが、西山本小学校との取り組みとして、八尾視覚障がい者福祉協会様、高齢者あんしんセンター中谷様の協力を得て、平成31年4月20日土曜スクールを開催しました。

当日は児童と視覚障がい者の方とのふれあいと対応、そして高齢者あんしんセンター中谷様からは認知症を発症された方への対応等多くの事を、児童と共に学びました。その際、児童の発言で「障がいを抱えた方には“思いやり”が一番の薬なんだ」との一言がありました。また、5年生と福寿草の会、みどりの会の協力でカレーを作り、一緒に食事をして楽しい時を過ごしました。

児童の多感な感性に感動して、今後もこのような事業を通して、地域に親しまれる福祉委員会を目指します。



土曜スクール

各地区福祉委員会の活動紹介

東山本地区（昭和59年5月設立）

当地区は、旧村(万願寺)の名前がなくなり東山本地区となり、伝統行事を活かした地区間の交流を大切にする活動を続けています。

ふれあい喫茶「ほほえみサロン」は月1回の開催です。アットホームな雰囲気、誰でも参加できる地域の集いの場として、いつもにぎわっています。ふれあいを大切にこれからも続けていきたいと思えます。

また、伝統行事をアレンジした世代間交流事業として、毎年1月に「とんど焼き」、3月に「春ごと」を開催しています。幅広い世代が参加し、交流できる行事となっており、地域コミュニティのよさが感じられます。



とんど焼き

地区全体の活動に加えて、地域の集会所等を拠点とした活動も活発に行われています。内容は喫茶や講演など様々で、それぞれが企画して実施しています。家の近くに集う場があることで、気軽に参加することができ、顔見知りの関係づくりにつながっています。

南山本地区（昭和59年5月設立）

当地区の「わくわくプラザ」「給食サービス」「ふれあい喫茶」を紹介します。

「わくわくプラザ」の歴史は長く、今年26周年を迎えます。小学校児童と地域協力者が一体となった取り組みです。体育館・運動場では、ドッジボール、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ。集会所と教室では、絵画、英会話、お作法、合奏、工作、手芸、陶芸、オセロ、コマ回し、カルタ、紙芝居、本の読み聞かせ、おもしろ算数など16種目を開催します。

次に「給食サービス」では、一人暮らしの高齢者を対象に手作りの季節料理を振舞えば、皆舌鼓を打ち、会話も弾み楽しいひと時を過ごします。



わくわくプラザ

最後は「ふれあい喫茶」です。手芸品作りコーナーが人気で、出会いや会話が楽しめます。活動時、各テーブルには地域で育てた季節の花々が飾られ、参加者の心を癒してくれます。

地域協力者は、子供たちの喜ぶ姿や高齢者の笑顔に接し、元気をもらい、すべての活動を楽しんでおり、これからも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

各地区福祉委員会の活動紹介

山本地区（昭和59年5月設立）

当地区は高齢者率が31%と非常に高い為、高齢者の方々が元気で楽しく暮らしていける活動を進めています。

年4回、一人暮らしのお年寄りの為の給食会開催や、堤町・小畑町・上之島・長池町の各地区でのふれあい喫茶、山本のふれあいサロンを月1回オープンし、活発にコミュニケーションを図っています。

最大の行事は9月に開催する「敬老祝寿会」です。区内75歳以上のお年寄り1,500人に招待状を発送し、山本小学校の体育館で歌や演奏を楽しみます。主役は山本高校吹奏楽部の皆様の熱のこもった演奏会です。また、健康の為、グラウンドゴルフ大会を年2回開催しています。40～50の方が参加されます。コロナで皆さんと集うことが出来なくなり、今後の活動を思案中です。



敬老祝寿会

北山本地区（昭和60年4月設立）

北山本地区では「継続は力なり」の言葉通り、設立以来の行事を守ってきました。

福祉委員会では、一旦解散した子ども会を新たにコスモス子ども会として立ち上げ、現在も頑張っています。

また、老人会も年々増える会員をまとめながらお誕生会や、元気の源である足を使って歩こう会、みんなで楽しむグラウンドゴルフ会などいろいろな行事があります。

小地域ネットワーク活動では、ボランティアさんを集めるためのサークルも細々とやりながら、踊りの会では、北山本小学校の子供たちに八尾の伝統の「河内音頭」を教え、運動会や市民スポーツ祭でみんな楽しく踊っています。

高齢者の方の居場所づくりとして「食事会と余興」、世代間交流として「ラジオ体操」「公園清掃」「七夕まつり」地域の方や手芸の会・老人会の方が飾りを作ってください当日、笹につけます。もちろん子供たちも好き好きに飾りや願い事を書いて飾ります。

12月に伝統のしめ縄づくり、子供たちはクリスマスリースづくりをして、新しい年を迎えます。

これ以外にも地域の方と協力のもと頑張ってきましたが、やはり役員の高齢化と得体のしれない感染症、これからの行事はどうしていくのかなど、課題はたくさんありますが、この地区では若返り作戦があります。楽しみにしています。



しめ縄づくり

各地区福祉委員会の活動紹介

大正北地区（昭和61年5月設立）

当地区では、「登下校時の声かけ運動」、「大正北小学校の下校時の安全パトロール」、4ブロックからなる小地域ネットワークでの「ふれあい喫茶・いきいきサロン」、「ふれあい食事会」等の活動を通じて地域に密着した活動を行っています。

今回は、毎月第1水曜日（8月はお休み）に行っている「ふれあい食事会」を紹介します。ひとり暮らしのお年寄りを対象にした食事会ですが、ボランティアさんの手作りにこだわった食事会ですので、お年寄りに好評で毎回60人以上の参加者がおられるので、料理を作るボランティアさんも大忙しです。

高齢者の方とのお話しも楽しいのですが、年3回の大正北小学校の3年生の児童との交流会もあって、毎月のメニュー作りも大変ですが、高齢者の方も手作りの料理を楽しみに食事会場まで、頑張って歩いて来られますので月1回の軽い運動日にもなり皆さんとても元気で、和気あいあいとした楽しい食事会になっています。

今後も高齢者の方との息の長い地道な活動を通して、地域で支え合いながら新しい行事計画にも挑戦していきたいと考えています。



ふれあい食事会

竹淵地区（平成5年4月設立）

掲載している写真は竹淵地区福祉委員会が主催している高齢者給食サービス「竹の会」の風景です。「竹の会」では作り立てのお弁当を提供し、みなさん会話をしながら、楽しく美味しく食べられています。当地区では、「小地域ネットワーク事業」で給食サービス以外にも、子育てサロンの開催やグループ活動、友愛訪問など多くの取り組みを行っています。

「小地域ネットワーク事業」以外にも市民スポーツ祭や美化活動、見回り夜警、非行防止のパトロールなど多くの活動を通じて、支え合い安心して暮らせる地域づくり、地域福祉の向上に努めています。



高齢者給食サービス

残念ながら昨年度は新型コロナの影響で、ほとんどの事業が中止になってしまいました。その中、「地域の交流の場を作りたい」との思いから「たごちdeハロウィン」を開催し、多くの方に参加してもらいました。

今年度も新型コロナの影響が続いていますが、一日も早く収束することを祈っています。

各地区福祉委員会の活動紹介

八尾第三地区（平成5年11月設立）

八尾小学校区には3つの福祉委員会があり、当第三地区は校区の西部を担当。校区は八尾市の中心部ですが、商店等も移動し、高齢化の急速な進行が特色。委員会には、6つの部会があり、概ね2か月毎に開催の役員会にて情報を共有している。総務部会は、放課後子ども教室・はちどりパト・登校時の声かけ・迷惑駐車啓発パト・まちづくり協議会活動等に参画。

保健福祉部会は、健康講座・献血・日赤活動等に参画。

生活更生部会は、子育て支援・ひとり暮らしや寝たきり高齢者友愛訪問・日常の民生・児童委員としての活動等を展開。

高齢福祉部会は、主として高齢クラブの様々な活動を展開。

小地域ネットワーク委員会は、毎月のいきいきサロンや食事会を開催・小学校1年生との世代間交流等を実施。

青少年福祉部会は、校庭キャンプ・ソフトボール大会・天満宮の祭神輿・太鼓の地区巡行・餅つき大会・市民スポーツ祭等の実施や参加。



世代間交流

高美地区（平成6年1月設立）

福祉委員会が発足して30年になります。地域の様子も変化し、高齢化が進むと同時に支え合いの基盤も弱まってきています。誰もが集まって世代を超えたコミュニケーションができる場の必要性がますます重要視されています。

高美地区では、町会加入世帯からの分担金と社協からの助成金を活用して、「高美フェスタ」や「ふれあい喫茶」また、地域の特徴の一つである町会等の集会所を利用し、町会単位で行っている「ふれあい食事会」にも力を入れています。そして、地域の皆さんに健康な毎日を送っていただくために、毎年「健康教室」を開催しています。関心が高く80歳以上の方が半数以上おられます。

この他に、夜間パトロールや平和学習等々。これらの諸行事は、世代を超えた親睦と交流を深める役目と共に子育て支援にも役立っています。また、「高美だより」の回数を増やして、福祉委員会の活動を地域の皆さんに知っていただくように啓発活動にも力を入れています。



健康体操

各地区福祉委員会の活動紹介

高美南地区（平成6年7月設立）

当地区は、八尾第一地区自治振興委員会（12地区）と安中地区自治振興委員会（6地区）の18自治会からなる組織です。1994年7月に設立して27年目を迎え、優しく温もりのある地域（まち）づくり、人づくりを目指して日々取り組みをしています。

例年は、高齢者の集える場として、安中老人福祉センターにおいて『給食サービス』を実施しております。ピーク時は、校区外の方を含め80人ほど参加されておりましたが、一線を引くことにより60人前後の参加者で落ち着いてきました。子どもの見守り活動として、小学校の正門前で『あいさつ運動』を実施しております。新学期当初は、照れもあるのか『あいさつ』をしてくれる児童も声が小さかったりしますが、だんだんと大きな声で『あいさつ』をしてくれるようになると、嬉しさが込み上げてきます。



市民スポーツ祭

毎年の恒例行事としては市民スポーツ祭があります。事前に、各町会の役員に集まっていたいただき、小さい子どもから高齢の方、障がいを持っておられる方も競技に参加しやすいプログラムのメニューを考えています。また、スポーツ祭に参加できない町会などの児童も参加できるよう小学校の協力を得ながら“南っ子”として競技に参加し、世代間の交流をはかっています。小学校の先生にもかなり協力していただき、校区上げての取り組みになっています。

今後もお互いに『顔が見える、顔の見える』取り組みをしていきます。

曙川地区（平成8年4月設立）

わたしたちの曙川地区は、近年新築住宅が都塚北町会、その他合わせて250軒ほどが建ち住み始めています。

小さな子どもたちが沢山住み通学予備軍であり、小さな子どもらの通学の安全を地域としては学校と一緒に守らなければと考えています。八尾警察署にも地域から安全要請を出しました。特に、曙川公園から東側に歩いていくところの道路はかなり危険と感じます。何とか子どもたちの安全と安心を守りたいと思います。

また、昨年からコロナの影響で地域の予定や子どもたちからお年寄りの楽しみを奪ってしまいました。私たち福祉委員会としても、こんなことは初めてなので何をしたいのかわかりませんでした。



ふれあい喫茶

しかし、今年は色々なアイデアを地域から出してもらい、できるものかできないものか、地域の人たちにとってよいものかどうか私たちも色々、見極めて取り入れていかなければならないと思います。

今年は皆で明るい年をすごしましょう。

各地区福祉委員会の活動紹介

曙川東地区（平成8年4月設立）

当地区は、八尾市東南部に位置し、新興住宅が殆どで一部旧村がある閑静な地域です。

曙川南地区の一部は農協地域として発展してきましたが、「八尾市都市計画マスタープラン」で良好な市街地の形成を目指し、住宅ゾーン及び沿道型産業誘致ゾーンとして位置づけられました。これを機に、平成27年11月から「曙川南土地区画整理事業」に着手され、4年あまりの歳月を経て区画整理事業を完了し、大街区による商業・業務用地に「アクロスプラザ八尾」の名称で多くの店舗が開設されて大きな賑わいをみせているところであります。



餅つき大会

また、この事業に先立ち「埋蔵文化財発掘調査」により、昔から史跡家により“幻の古刹・由義寺”と云われていた。由義寺塔基壇が発掘されて、国内に大々的に報道され、わずか1年という短期間で、国史跡に指定されました。その地は、『由義寺遺跡公園』として八尾市をはじめ地域のロマンと憩いの場として、整備されていくことになっております。

このように、住宅地・公園緑地・道路等も整備されて、新しい街並と遺跡等が融合した素晴らしい地域となり、今後当地域はますます活性化していくと期待しているところであります。

さて、令和元年から「新型コロナウイルス」の感染拡大で3回も『緊急事態宣言』が発出され、世の中が不安と恐怖に包まれて地域事業がすべて開催できず苦慮しているところであります。

「コロナ禍」が終息すれば、地域の皆さまや子どもたちに喜ばれる当地区独自（ふれあい祭“盆踊り大会”・市民スポーツ祭・餅つき大会・敬老祝寿式・住民懇談会・小地域ネットワーク活動など）の事業を展開してまいりたいと存じます。

刑部地区（平成8年4月設立）

当地区福祉委員会は「すべての人がこのまちに住んで良かったと思える福祉社会の実現のために、住民・地域の諸団体・学校がともに手を取りあいながら、活動や組織の運営を行います」を機変方針に4部会・12団体で活動しています。



世代間交流

小地域ネットワークの活動では月1回「すみのれの会」によるひとり暮らし高齢者の食事会、月2回「ひまわりの会」による子育てサロンを行っています。また、毎日の登下校時の声かけ、夏休みのパトロールで児童たちの見守りを行っています。世代を越えたふれあい祭り、盆踊り大会、市民スポーツ祭では高齢者から幼児まで全ての年代の方が楽しめるように工夫しています。クリーンキャンペーンにはあらゆる年齢層の方が協力して地域清掃をしてくれています。

今後、全ての世代の地域住民の方が交流していくことはますます重要になってきます。当地区福祉委員会では地域住民の方の交流を推進する活動をさらに進めていきます。

各地区福祉委員会の活動紹介

大正南地区（平成14年8月設立）

当地区は、八尾飛行場の南側、大和川の北側に位置している。大きく分けると、太田地区、太田新町地区、若林地区、沼地区に分かれ、人口10,327人、世帯数4,846世帯（令和3年3月31日現在）。

当地区において、ふれあい喫茶5か所で開催、毎月1回カラオケ・健康講座・わなげ・体操等をそれぞれの地区で催し物を考え、年齢を問わず参加者をお待ちしている。時々、食事を出すように工夫をしています。また、大正コミセンにおいて、独居高齢者を対象に、毎月第一金曜日に食事会を開催しています。参加者は、60名程度、ボランティア13名、役員4名で食事会をし、食事後は、童謡・懐かしのメロディーを歌ったり、体操、頭の体操等を行い、笑いが絶えない。



ふれあい食事サービス

3月、7月には、大和川の清掃（大和川クリーンキャンペーン）。

10月市民スポーツ祭開催。1月マラソン大会開催。

今後については、地域住民の皆様とふれあいの輪を広げ、安心・安全な住みよい町づくりに取り組んでまいります。

龍華地区（平成17年5月設立）

当地区は、設立して16年が経過しました。住民が健康で、安全な住み良いまちをめざして、活動しています。近年は、高齢者と子どもの取組みを、重点目標として活動しています。

5年前に龍華コミセンが新規開設され、高齢者を対象とした健康体操・食事会・ふれあい喫茶などの事業、また地区の人達が製作した「素人作品展」を開催するなど、コミセン利用の屋内型事業が、小地域ネットワーク事業活動として広がりました。屋外型事業では、龍華小学校グラウンドを利用し、ふれあい祭・グラウンドゴルフ大会・市民スポーツ祭など、多数参加があります。また夏期・年末のパトロール、そして児童との挨拶運動、地域パトロールを通じて子どもの安全に取り組んでいます。



ふれあい祭

コロナ禍で活動が停滞していますが、今後とも安心・安全な住み良いまちづくりに取り組んでまいります。このような活動は、年2回発行の広報誌で、皆さんにお知らせしています。

各地区福祉委員会の活動紹介

亀井小東地区（平成17年10月設立）

当地区は、JR久宝寺駅の南西方向で国道25号線沿いにある亀井小学校の東側6町会で組織され運営しております。発足は遅くて昨年に15周年を迎えたばかりですが、主に4部会に分かれて活動をしています。

去年から新型コロナウイルスの影響で殆どどの活動は中止となりましたが、それまでは、生活保健福祉部会では、一人暮らしの「みちくさ会」での食事会や見守り活動に加えて子育てサロンの活動もしております。

高齢者福祉部会では、グラウンドゴルフ大会や各町会でのいきいきサロンを実施し、青少年福祉部会では、子どもクリスマス会や世代間交流のグラウンドゴルフ大会をすると共に、跡部本町公園で「もちつき大会」も開催しております。総務部会は福祉だよりの発行で広報をし、他にも亀井小学校児童への、声かけ運動や昔あそび等をしています。

色んな活動を通じて、この地区が、ふれあいと思いやりのある住み良いまちになればと願っております。



餅つき

八尾小学校区第一地区（平成21年6月設立）

八尾市で最後に出来た当地区の福祉委員会も今年でやっと13年目を迎えました。

民生委員と独居高齢者の小ざくらの会を中心とした小ネット推進部会での「いきいき茶話会」「ふれあい食事会」、広く一般高齢者も対象とした高齢福祉部会による年3回の「健康ハイキング」や「観梅・観桜ハイキング」、子ども会を母体とした青少年福祉部会での「校庭キャンプ」「餅つき大会」「いちご狩り大会」等の子育て支援活動、子育て世代とその卒業世代が中心となった地域福祉部会による「夏祭り」「盆踊り」「歳末夜警」「とんど祭り」等の地域活動への協力など、各部会での行事も熟成して来ました。

特に秋の行楽シーズンに行う「三世代交流ハイキング」は青少年福祉部会を中心に全部会が協力して、幼児から父兄、高齢者まで混ざり合ってハイキングを行い、みんなでミカン狩りやイモ堀り等を楽しんでいます。「住民みんなが顔を知っているまち」を目指して、これからもコミュニティの熟成に励んでいきます。




小ざくら会



ボランティアグループの紹介

ボランティアセンター登録グループ

グループ名	主な活動日	主な活動場所	活動内容
八尾点訳奉仕 野菊の会	定例会：毎月第1水曜日	定例会：社会福祉会館 活動：自宅等	市公文書や案内文、学生の教科書等の点訳、パソコン点訳
ひまわりの会	定例会：毎月第1水曜日	定例会：サポートやお 活動：福祉施設等	高齢者施設の夏祭り、障がい者施設のバザー等のお手伝い
八老劇団 つくしの会	稽古：毎週火曜日 公演：随時	稽古：老人福祉センター 公演：福祉施設等	高齢者による手づくりのボランティア劇団
NPO法人明るい社会づくり運動 賛助会員Y・Kホットフォーラム	年間計画による	年間計画による	イベント等の清掃活動、歳末たすけあい運動（街頭募金）
八尾市手話サークル どんぐり	定例会：毎週金曜日	定例会：社会福祉会館 活動：コミセン、小中学校	聴覚障がい者と交流、手話の学習、手話指導と啓発活動
八尾いきいき 歌体操グループ	定例会：毎月第1木曜日	定例会：サポートやお 活動：福祉施設等	歌を唄って楽しく頭と身体の体操
音訳グループ コスモス	定例会：第2・4水曜日	定例会：社会福祉会館	市の広報誌や障がい者団体の会報、その他雑誌や図書の音声化
手づくり やさしい手	定例会：毎月第2・4月曜日	サポートやお	高齢者や障がい者の介護用品の手作り
運転ボランティアグループ	毎日(年末年始、お盆を除く)	病院等への送迎	福祉車両による高齢者、障がい者の送迎
親と子のいんた～ねっと YAO	定例会：火曜日か木曜日 (月1回)	定例会：サポートやお	子育て情報誌発行、子どもも大人も楽しめるイベントの企画運営
八尾手話サークルみどり	定例会：毎週木曜日	定例会：社会福祉会館	聴覚障がい者と交流、手話の学習、手話指導と啓発活動
子どもと遊びの ねっとわーく・八尾	毎月第3日曜日	恩智神社から少し登った森の中	親子で、自然の中で遊びやアウトドアクッキングを体験
大阪府シルバーアドバイザー 八尾・柏原(SA八尾・柏原)	定例会：毎月第2月曜日	定例会：社会福祉会館 活動：福祉施設、小学校等	特技を活かして、高齢者、障がい者、子どもたちと地域活動
八尾市ボランティア 教育振興会	役員・部長会：月1回、 各部会：月2回	活動：小中学校、支援学校 幼稚園、保育所、病院等	青少年にボランティア精神を育むための活動
八尾傾聴「えくぼ」	定例会：毎月第3水曜日	定例会：サポートやお 活動：福祉施設、個人宅	高齢者施設に入所、通所されている方や個人宅への傾聴
花水木の会	定例会：毎月第1水曜日 活動：毎月第1、3土曜日他	福祉施設等	介護予防体操
要約筆記グループ さざんか	毎月第1土曜日	活動：八尾市立障害者 総合福祉センター	聴覚障がい者へ文字での通訳



理事・監事・評議員
地区福祉委員長連絡協議会 名簿

理事・監事・評議員名簿 (順不同)

◎理事

(令和3年8月14日現在)

役職	名 前	選 出 母 体
会 長	竹ノ株 宏 美	八尾市地区福祉委員長連絡協議会
副会長	角 田 禮 子	八尾市女性団体連合会
副会長	西 田 裕	八尾市自治振興委員会
副会長	川 崎 吉 継	八尾市民生委員児童委員協議会
理 事	山 本 賢	八尾市高齢クラブ連合会
理 事	村 尾 佳代子	八尾市青少年育成連絡協議会
理 事	渡 辺 節 子	八尾市障害者団体連合会
理 事	名 本 勝 彦	八尾商工会議所
理 事	辻 田 保 子	八尾市ボランティア連絡会
理 事	荒 井 恵 一	社会福祉施設連絡会(高齢)
理 事	佐 分 佐知枝	社会福祉施設連絡会(障がい)
理 事	藤 井 一	社会福祉施設連絡会(児童)
理 事	濱 口 澄 子	八尾市社会福祉協議会
常務理事	森 孝 之	八尾市社会福祉協議会
常務理事	田 邊 卓 次	八尾市社会福祉協議会
監 事	渡 邊 明 久	公認会計士
監 事	芦 田 雅 己	学識経験者

◎評議員

(令和3年9月14日現在)

名 前	選 出 母 体
新 居 佐登子	八尾地区募金会
池 田 大 興	八尾地区保護司会
鶯 地 弘 子	八尾地区更生保護女性会
片 山 満 幸	一般社団法人 八尾市歯科医師会
北 村 禮 子	八尾市献血推進協議会
桐 島 久 恵	八尾市介護者(家族)の会
上 東 百合子	八尾市ボランティア連絡会
相 馬 康 人	八尾ロータリークラブ
丸 山 和 巳	八尾市地区福祉委員長連絡協議会
辰 巳 昭 央	一般社団法人 八尾市医師会
津 田 伸 一	八尾市地区福祉委員長連絡協議会
長 井 富美子	一般社団法人 八尾市薬剤師会
福 森 潔	八尾市介護保険事業者連絡協議会
藤 本 高 美	一般財団法人 八尾市人権協会
星 本 澄 男	(特活) 自立生活センターやお
山 中 伸 二	八尾中央ライオンズクラブ
吉 澤 経 子	八尾市ひとり暮らし老人の会連絡会

地区福祉委員長連絡協議会名簿 (順不同)

(令和3年10月1日現在)

役職	地 区	名 前
	曙川	松 尾 皓 介
	曙川東(代行)	遠 藤 信 司
	刑部	水 上 光 彦
	上之島	西 喜 一
	亀井	田 中 正 伯
会 長	亀井小東	津 田 伸 一
	北山本	私 市 比呂司
	久宝寺	伊 賀 滋
	志紀	森 田 晃 子
	大正北	福 平 武
	大正南	本 莊 明 裕
	高砂	早 川 正 夫
	高美	竹 村 征 夫
副 会 長	高美南	丸 山 和 巳
	高安	植 田 能 生
	高安西	藤 川 寿 之
会 計 監 査	竹漕	高 田 正 史 郎
	長池	中 野 照 子
	永畑	夫 婦 岩 実 良
	西郡	吉 田 清
	西山本	増 田 明 彦
	東山本	小 倉 栄 子
	美園	谷 元 久 雄
	南高安	寺 前 良 男
	南山本	植 田 紀 一
	八尾小校区第一	大 宮 隆 義
	八尾第二	萱 村 光 治
会 計	八尾第三	武 内 貴 夫
	安中	竹ノ株 宏 美
	安中(代行)	柳 川 聖 志
	山本	岩 山 博 志
	用和	山 中 あ や 子
副 会 長	龍華	松 井 勇

八尾市社会福祉協議会「設立70周年記念誌」

令和3年10月発行

〔発行人〕 竹ノ株 宏 美

〔発行所〕 社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会

〒581-0003 八尾市本町二丁目4-10 八尾市立社会福祉会館内
TEL.072-991-1161 FAX.072-924-0974

